

開発企業に対する支援の事例

開発企業 株式会社 今仙技術研究所（あいちロボット産業クラスター推進協議会の会員企業）

相談内容 開発中の移乗介助用ロボット「STAR」のユーザビリティ評価をお願いしたい

- 支援内容
- リハビリテーション病院, 介護老人保健施設, 特別養護老人ホームなど, 様々な施設とマッチング
 - リハビリテーション専門職や介護福祉士の方々に試用していただき, 改良につながる多くの意見を収集
 - 改良の方向性についての助言や議論, 改良試作品の再評価実施を支援



豊田地域医療センター



河村病院



老人保健施設 こまきの森



介護老人保健施設
カワムラコート



特別養護老人ホーム 平安の里

開発担当者の声

多くの介護, リハビリテーションの専門職の方々や患者さん, 施設の入所者の方々にお試しいただけたことで, 実用化に向けた課題や現場のニーズを把握することができ, 改良を加速させることができた. ロボットの開発や社会実装に関わるコーディネータがともに活動することで現場との意見交換や議論が円滑に進められてよかった.

利用側に対する支援の事例

支援施設 社会福祉法人なごや福祉施設協会 なごやかハウス福原

相談内容 ノーリフティングケアに役立つ支援機器に関心がある。施設で役立つ機器はないか？

- 支援内容
- 施設の入所者の身体状況や移乗方法を介護福祉士、理学・作業療法士から聴取
 - 移乗サポートロボット Hug (株式会社FUJI) を提案
 - 現場職員および施設管理者が体験できる機会を設定し、導入効果、他施設での活用事例などを紹介
 - 試用期間中にコーディネータが施設を訪問し、Hugの適応となる利用者の選定や利用者に対する試用を支援



移乗サポートロボット Hug
(株式会社FUJI)



職員による体験の様子



利用者への試用を立会支援



動画を用いた情報共有

施設職員の声

【現場職員】コーディネータの支援があったため安心して利用者様に機器を試用することができた。うまくできなくてもいつでも相談できる安心感がよかった。自分たちが思っていたよりもたくさんの適応者がいることに気づき、施設で役立つことがわかった。

【施設管理者】現場の職員が安心してトライアルできたことがよかった。現場職員の受け入れが良いため導入を検討する。